

長野・新潟県境にまたがる9市町村の広域観光圏「信越自然郷」で訪日客向けのサイクルツアーを推進する一般財団法人「日本サイクリングネットワーク」(JCN、東京)は5月から、9市町村の住民を対象に国際基準のサイクリングガイド養成に乗り出す。世界各国でツアーを手がける米国のバイシクル・アドベンチャーズ社が研修を担い、資格を認定。欧米を中心にサイクリングを愛好する富裕層の受け皿を地域で整え、ツアーを楽しんでもらう。

信越自然郷 サイクリング 国際ガイド養成

同社は提携するJCNの協力を受け、信越自然郷や北陸地方を1週間ほどかけて巡るツアーを2023、24年に1回ずつ企画。海外から計13人が参加した。信越9市町村広域観光連携会議(事務局・飯山市商工観光課)とJCNなどは24年、信越自然郷で訪日富裕層向けのサイクルツアーを進めようと協定を結んだ。

地元住民対象米で研修へ

ガイド候補者は、1日60〜70キ程度のサイクリングに慣れており、英会話に優れ、地域の歴史や文化に詳しいなどの条件で募る。研修は米国で行い、1〜



飯山駅前集合写真に納まる、バイシクル・アドベンチャーズ社のツアー参加者ら＝2024年10月

訪日客の受け皿整備 経済効果も期待

2週間のツアーガイドに必要な知識や技術を座学と実地で10日間ほど学ぶ。費用は滞在費を含めて約20万円(渡航費除く)。研修後、同社が信越自然郷で企画するツアーでガイドを請け負う。

23、24年のツアーは同社からガイドが派遣されており、開催頻度が限られていた。JCNの間庭伸一代表理事は、地元でのガイド養成を通じて「より多くの人に信越自然郷の自然や文化、歴史を楽しんでもらえる」。同社の顧客は欧米を中心とした富裕層で、宿泊や飲食などで地域への経済効果も期待できるとする。

連携会議事務局の飯山市商工観光課は、北陸新幹線飯山駅があり都市部からアクセスが良い強みを生かし、グリーン期にも地域に訪日客を呼び込みたいとする。担当者は、JCNとも連携して「自転車愛好する多様な層が楽しめる環境を整えていきたい」と話している。

ガイド候補者の募集は5月1日から。希望者はJCN(contact@j-cycling.net)へ。